

生活指導だより

平成24年12月7日

練馬区立早宮小学校

生活指導担当 菅野 泰弘

毎朝の冷え込みが身にしみるようになってきました。気温・湿度の低下とともに、学校全体の欠席人数も増えています。感染性胃腸炎や溶連菌感染症などで、出席停止となる様子も見受けられます。体調を崩しやすい時期を乗り越えるために、日々のうがい・手洗いを大切に生活するよう、学校では声をかけていきます。

持久走大会を終え、秋の学芸的な学校行事の音楽会を間近に控えるこの時期、体育館や教室から歌声や楽器の音色が響くようになってきました。一昨日よりも昨日、昨日よりも今日の響きがよくなる様子が嬉しく、12月7・8日の本番が楽しみです。

とはいえ、学校行事の前は、目標を達成するまでの道のりで、いつも以上に練習や努力が必要だったり、緊張感が高まったりすることで、子供たちが不安定になることもあります。ご家庭でも、そうした子供のサインをぜひ受け止めてください。

『ふれあい月間の合言葉』

11月は「ふれあい月間」といって、あらためて「心と心のふれあい」や「人と人とのふれあい」を大切にすることを重点に考えて過ごす期間でした。

そうした練馬区の小・中学校全体の取り組みを受けて、全校朝会で「ふれあい月間の取り組みとして、『いじめ』にかかわる人が目にしたら、それぞれの立場で勇気が出るような合言葉をクラスごとに考えてみてください！」と話しました。

各クラスの合言葉は、学年ごとに、<いじめている人><いじめられている人><まわりで見ている人>の中から投げかける相手を決めて、子供たち全員で話し合って決めました。話し合うことを通して、友達とのかかわり方を考えること、自分の行動を相手がどう感じるのか考えることを経験したことと思います。

今後も、子供たちのかかわり合いの様子や表情の変化などを、教職員全員でよく見ていきます。保護者の方々も、お気づきの点はぜひ学校までお知らせください。

<いじめている人へ>

- ・(1年1組)いじめはね 人のこころを きずつける
- ・(1年2組)ともだちへのいじめは じぶんにかえってくるんだよ
- ・(1年3組)いじめられている人が かわいそうだからやめなよ。
- ・(4年1組)いじめはね 心に残る 深い傷
- ・(4年2組)そのいじめ いつか必ず 返ってくる
- ・(4年3組)ごめんなさい その一言で 変わるから

<いじめられている人へ>

- ・(3年1組)そうだんは 未来をひらく かぎになる
- ・(3年2組)だいじょうぶ あなたを守る 人がいる
- ・(3年3組)だいじょうぶ みんなは君の みかただよ
- ・(6年1組)大丈夫 あなたの味方は ここにいる
- ・(6年2組)過去は変えられないけど、未来なら変えられる。
勇気を出して話してみよう。あなたはきっと変わるよ。
- ・(6年3組)あと一步。勇気をもってうちあげよう。明るい世界が広がるよ。

<まわりで見ている人へ>

- ・(2年1組)かわいそうだと思うなら ゆう気を出して言ってみよう。
- ・(2年2組)たずけてあげようよ 見ているのもいじめだよ。
- ・(2年3組)考えて! いじめられた人の気持ち。
伝えて! 「ごめんなさい。」その一言を。
- ・(5年1組)友達が 君の助けを まっている
- ・(5年2組)声をかけ 相談しよう 友達の輪
- ・(5年3組)いじめはね 見るんじゃなくて 守るんだ

